

緑の基本計画〈2026〉の改定について

【今後のみどりのまちづくりを考える上での重要な視点】

1. 本日の論点
2. 今後のみどりのまちづくりを考える上での重要な視点（更新案）

ご意見を踏まえた修正・追記：青色斜体で表記

1. 本日の論点

① 今後のみどりのまちづくりを考える上での重要な視点について

- ・考察を深めるべき視点や、見直し・追加が必要な視点などについてご意見を頂戴したい

② 今後のみどりのまちづくりの方向性の検討・整理に向けて

- ・下記に示す「現行計画における今後のみどりのまちづくりの方向性」を踏まえつつ、反映すべき観点・ポイントや、今後の検討のアプローチなどについて幅広くご意見をいただきたい

(参考) 現行計画における公園・緑化のあり方 (= 今後のみどりのまちづくりの方向性) ※ 再掲

あり方1

みどりの既存ストックの活用と多様なみどりの確保による
「みどりのベースアップ」(“みどりの都市”への成長)

あり方2

都市の個性・イメージ・魅力の向上につながる
「大都市ならではのみどりの創出」(“みどりの都市”イメージの構築・発信)

あり方3

市民・事業者が主体的にみどりのまちづくりを担う受け皿や
仕組みづくり、展開(“みどりの都市”を実現する仕組み(受け皿)づくり)

2. 今後のみどりのまちづくりを考える上での重要な視点（更新案）

- 現行計画における「重要な視点」をベースに、関連する「社会情勢の変化」や、「大阪市のみどりの強み・弱み」を踏まえ、更新案を検討

（参考）現行計画における「今後のみどりのまちづくりを考える上での重要な視点」※ 再掲

大震災や都市型洪水など都市災害への対応 復興まで見据えた計画的なまちづくり、都市型災害への対応

自然環境・生物多様性の保全 生き物の生息・移動環境となる自然環境の保全・創出・ネットワーク化

都市環境の改善やエネルギー問題への対応 ヒートアイランド現象の緩和・低炭素型都市づくり

都市の個性や魅力の向上 地域社会・経済の活性化や都市の成長戦略につながるみどりの取組み

まちづくり活動の活発化 地域のまちづくり活動を支える仕組みづくり

都市計画公園・緑地の見直し 都市計画公園・緑地の必要性や事業のあり方を精査

みどりの創出・保全の展開と手法 みどりの量的な充実に加え「質の観点」を加味した既存ストックの活用と新たなみどりの創出につながる取組み

2. 今後のみどりのまちづくりを考える上での重要な視点（更新案）

【現行】 大震災や都市型洪水など都市災害への対応

【主な社会情勢の変化】 ※ 第6回・第7回審議会でのキーワード等を踏まえ整理

- 災害の激甚化・頻発化
- 巨大地震（南海トラフ地震など）への備え
- 流域治水の広がり
- **新型コロナウイルスの感染拡大** など

⇒ **大震災や都市型洪水、感染症の拡大など、災害級の危機への対応**（レジリエントなまちづくりに寄与するみどり）が求められる

【大阪市のみどりの強み・弱み】 ※ 第8回審議会でのキーワード等を踏まえ整理

- 強み：一時避難場所となる身近な公園が市域全域に配置されている
- 弱み：高度に都市化されているため、都市型災害（集中豪雨による内水氾濫など）のリスクが高い

⇒ 大阪市は**都市型災害のリスクが高い**ため、引き続きの対策が求められる



【**変更なし**】

大震災や都市型洪水など都市災害への対応

〈新たなキーワード〉 激甚化・頻発化する災害への対応、流域治水、レジリエントなまちづくり

〈施策イメージ〉 雨水浸透・流出抑制のさらなる推進

（下水道施設と連携した雨水浸透・流出抑制の取組、公園や街園における自然面の増加）

風害に強い健全な樹木の育成（道路の空間再編等に合わせた植栽基盤の改良）

2. 今後のみどりのまちづくりを考える上での重要な視点（更新案）

【現行】 自然環境・生物多様性の保全

【主な社会情勢の変化】 ※ 第6回・第7回審議会でのキーワード等を踏まえ整理

- 生物多様性損失の進行 ● 生物多様性国家戦略の策定
- ネイチャーポジティブ実現に向けた取組 など

⇒ みどりのまちづくりにおいても、**生物多様性への貢献**の必要性が高まっている

【大阪市のみどりの強み・弱み】 ※ 第8回審議会でのキーワード等を踏まえ整理

- 強み：淀川や上町台地、大規模な公園（鶴見緑地、大阪城公園）など、特徴的な自然環境が保全されている
- 弱み：都市化に伴い、生き物の生息環境や、自然との関わりを実感する機会が限られている

⇒ 元々の自然に恵まれず自然環境の希少性が高い大阪市において、**都市生活とのバランスを図りながら既存の自然環境を保全**していくことは重要

【更新案】

都市における自然環境・生物多様性の保全

〈新たなキーワード〉 ネイチャーポジティブ、生態系ネットワーク

〈施策イメージ〉 生き物の生息環境やみどりのネットワークの保全・再生

（民有地緑化の継続的な推進、大規模公園や街路樹等の持続的な維持管理、保全配慮計画の策定・実践）

2. 今後のみどりのまちづくりを考える上での重要な視点（更新案）

【現行】 都市環境の改善やエネルギー問題への対応

【主な社会情勢の変化】 ※ 第6回・第7回審議会でのキーワード等を踏まえ整理

● 気候変動・異常気象の顕在化 ● 「低炭素」から「脱炭素」への転換 ● 循環型経済への移行 など
⇒ **気候変動への対応や、カーボンニュートラルの推進**などが求められる

【大阪市のみどりの強み・弱み】 ※ 第8回審議会でのキーワード等を踏まえ整理

● 強み： 海域・河川などの水域が多く、猛暑対策の観点でポテンシャルが高い
● 弱み： 高度な都市化に伴うヒートアイランド現象や、夏季の猛暑が特に深刻な課題となっている
⇒ **猛暑への対策など都市環境の改善**が特に求められる



【更新案】

気候変動への対応や都市環境の改善

〈新たなキーワード〉 猛暑対策、カーボンニュートラル、循環型経済

〈施策イメージ〉 夏季でも快適に過ごすことができるみどりの空間づくり

（緑陰を意識した樹木管理、夏でも涼しさを感じられるモデル公園の整備）

カーボンニュートラルの実現に貢献する取組

（公園施設の木質化、公園灯のLED化）

2. 今後のみどりのまちづくりを考える上での重要な視点（更新案）

【現行】 都市の個性や魅力の向上

【主な社会情勢の変化】 ※ 第6回・第7回審議会でのキーワード等を踏まえ整理

- 都市間競争の激化
- 外国人観光客の増加
- 都心の再開発 など

⇒ 都市間競争が激化する中、**個性豊かな都市魅力の向上**が求められる

【大阪市のみどりの強み・弱み】 ※ 第8回審議会でのキーワード等を踏まえ整理

- 強み：上町台地など、大阪の歴史・文化が感じられる貴重なみどりが存在している
- 弱み：都市イメージの向上に資するような景観に配慮した維持管理には至っていない

⇒ 既存のみどりを活用しながら**大阪の都市魅力や都市格を高め、シビックプライドを醸成**していく必要がある



【更新案】

都市の個性や魅力・**風格**の向上

〈新たなキーワード〉 オンリーワン都市、シビックプライド

〈施策イメージ〉 大阪の個性や魅力を体感できるみどりのまちづくり

（緑化重点計画の策定・実践、大規模公園における魅力向上の継続展開）

都市格の向上に貢献するみどりのまちづくり

（路線の特徴等を踏まえた街路樹の適切な維持管理）

2. 今後のみどりのまちづくりを考える上での重要な視点（更新案）

【現行】 まちづくり活動の活発化

【主な社会情勢の変化】 ※ 第6回・第7回審議会でのキーワード等を踏まえ整理

- 人口動態の変化（人口減少、少子高齢化、若年層の都心回帰など）
- 官民連携・エリアマネジメントの広がり、みどりの経済的価値への関心 など

⇒ まちづくり活動の広がりを機会として捉え、**まちの価値を高める取組**が求められる

【大阪市のみどりの強み・弱み】 ※ 第8回審議会でのキーワード等を踏まえ整理

- 強み：企業などが多く立地するため、人材・技術・資金などが集まるポテンシャルが高い
- 弱み：そのポテンシャルの高さをみどりのまちづくりに活かすことが十分にできていない

⇒ 人材・技術・資金などが集積する大阪市の強みを活かすために、**多様な主体の連携**が必要



【更新案】

多様な主体によるまちづくりと連携したまちの価値向上

〈新たなキーワード〉 エリアマネジメント、産・官・学・民の連携、
みどりのオフサイト効果・経済効果

〈施策イメージ〉 多様な主体と連携したみどりの創出・価値向上

（**エリアマネジメント活動の支援**、中小公園の活性化、市民緑地認定制度の推進）

2. 今後のみどりのまちづくりを考える上での重要な視点（更新案）

【現行】 都市計画公園・緑地の見直し

- 現行計画の検討時は、都市計画によるみどりだけでなく、民有地も含めた多様なみどりに焦点を当てる転換期にあった
- そのため、長期に事業未着手となっていた都市計画公園・緑地についても、その精査を行う必要があった
- その後、長期に事業未着手となっている都市計画公園については、必要性・代替性・実現性の観点から見直しを実施しており、未整備となっている都市計画公園について順次着手・整備を進めている状況



削除

都市計画公園・緑地の着実な整備や、必要に応じた都市計画公園・緑地の見直しは、個別施策として今後も行っていくことを前提に、「重要な視点」としての項目からは削除する

2. 今後のみどりのまちづくりを考える上での重要な視点（更新案）

【現行】 みどりの創出・保全の展開と手法

【主な社会情勢の変化】 ※ 第6回・第7回審議会でのキーワード等を踏まえ整理

●財源・人材の制約 ●デジタルトランスフォーメーション ●イノベーション ●SNS等の発達 など
⇒ 財源や人材に限られる中、新技術を含めた**より効果的・効率的な手法**を取り入れ、**持続可能なみどりのまちづくり**を進めていくことが求められる

【大阪市のみどりの強み・弱み】 ※ 第8回審議会でのキーワード等を踏まえ整理

●強み：高度に都市化されている中、みどりの創出・保全を図ってきた
●弱み：みどりに関する情報を効果的に発信することができていない
⇒ 「質の観点」を加味したみどりの保全・創出と併せて、**みどりを身近に感じられる情報発信**が必要



【更新案】

みどりの創出・保全の展開と**情報の発信・共有**

〈新たなキーワード〉 持続可能なみどりのまちづくり、DX、イノベーション、情報発信

〈施策イメージ〉 持続的なみどりの保全・創出につながる新たな手法検討
(新技術を活用した効果的・効率的な手法の検討、みどりの価値の見える化の検討)

みどりに関する**情報の発信・共有**

(情報発信戦略の検討、新たな情報発信ツールの活用)

2. 今後のみどりのまちづくりを考える上での重要な視点（更新案）

【主な社会情勢の変化】 ※ 第6回・第7回審議会でのキーワード等を踏まえ整理

- コロナ禍を契機としたオープンスペースの重要性の再認識
- 子育て支援の必要性の高まり
- ウェルビーイング（心・体・社会的な健康）に対する関心の高まり
- 健康寿命や介護支援の重視
- 人と人のつながりの重要性の再認識

⇒ コロナ禍を契機として、ソーシャルキャピタルの増進や、生活における心の豊かさを育む取組がより求められるようになった

【大阪市のみどりの強み・弱み】 ※ 第8回審議会でのキーワード等を踏まえ整理

- 強み：パークファン事業により地域に身近な公園の利活用を推進してきた
 - 弱み：地域に身近な公園の機能が画一的であるなど、生活における多様なニーズに対応できていない
- ⇒ 人々の生活に寄り添い支えていくために、多様なニーズに対応したハード・ソフトのみどりが必要

【新規】

（仮）一人ひとりのいきいきとした都市生活の実現

〈新たなキーワード〉ウェルビーイング（心・体・社会的な健康）、サードプレイス、
ソーシャルキャピタル（信頼・規範・ネットワーク）、
社会的包摂、子育て支援、地域特性やニーズへの対応

〈施策イメージ〉多様なニーズに対応した公園づくり

（地域特性等に応じた公園の機能再編、環境改善による快適な公園づくり）

地域に密着した公園の利活用や運営

（パークファン事業の継続・拡大、地域主体の公園運営）